ノリタケ製品のお取り扱いについて

ノリタケ製品を安全に、かつ永くご愛用いただくために、素材別の取り扱い方法をご説明いたします。
正しくご使用いただくためにも、お手元に置いて、常にお読みいただけるようにお願い致します。

⚠注意 =お取り扱いを誤った場合に、お客様が怪我などの傷害を負う可能性、または本製品以外の物的損害が発生する可能性がございますので、
よくお読みいただき、ご注意くださいますようお願い申し上げます。

安全にご使用いただくために

⚠注意

●製品本来の用途（食器・花器・インテリア用品としてのご使用など）以外には、ご使用にならないでください。
●強い衝撃や急激な温度変化は、ヒビ・カケや破損の原因となりますので、お避けください。
●煮沸、高温での湯煎は、製品を傷めたり、破損の原因となりますのでお止めください。
●万一、ヒビ・カケが入った場合は、安全のため、ご使用をお止めください。
●ヒビ・カケが入った場合や破損した場合は、破片などで怪我をしないよう充分にご注意ください。
●熱い料理やお湯にご使用の場合、食器も熱くなりますので、火傷にご注意ください。
●直火、IH クッキングヒーターによるご使用はできません。
●製品の底部でテーブルなどを傷つけることがございますので、ご注意ください。
●食器を直接重ねると食器同士で傷つく事がございますので、ご注意ください。
●ご購入後の食器は、衛生上、必ず洗ってからご使用ください。

電子レンジのご使用について

⚠注意

GOLD SILVER

●空焚き、急熱急冷は、破損の原因となりますので、お止めください。
●加熱後は火傷にご注意ください。
●食器本体の裏印に「MICROWAVE SAFE」と表示のある食器は、ご使用になれます。
●金銀の装飾が施された製品は、「MICROWAVE SAFE」と表示のある食器以外は、ご使用になれませんのでご注意ください。
●食器本体の裏印に「MICROWAVE SAFE」と表示のない食器は、金銀の装飾が施されていないものに限り、食材を温める程度にご使用になれます。
●電子レンジをご使用の場合は、機器の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
●オーブン機能をお使いの場合は、食器本体の裏印「OVEN SAFE」と表示のある食器のみ、ご使用になれますので、ご注意ください。

オーブンのご使用について

⚠注意

●空焚き、急熱急冷は、破損の原因になりますので、お止めください。
●加熱後は火傷にご注意ください。
●食器本体の裏印に「OVEN SAFE」と表示のある食器は、ご使用になれます。
●オーブンをご使用の場合は、機器の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

洗浄によるお手入れについて

●ご使用後の汚れは、早めに落としてください。そのままにしておくとシミや汚れが落ちにくくなります。
●永く美しくご使用いただくために手洗いをおすすめします。手洗いの場合は、台所用合成洗剤を使用し、柔らかいスポンジや布などでお洗いください。
●金属タワシや研磨剤付スポンジ、クレンザーなどは、製品の表面に悪影響を及ぼすため、ご使用をお避けください。
●家庭用食器洗い乾燥機をご使用の場合は機器の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
●長時間水に浸けたままにしておきますと、食器の釉薬がかかっていない部分から洗剤などがしみこみ、汚れの原因となりますのでご注意ください。
●茶渋などの頑固な汚れには、台所用漂白剤をご使用ください。その場合は、台所用漂白剤の取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。尚、金銀の装飾が施された製品、上絵付け製品（※）には、絵柄に影響を与える可能性がありますので、酸素系漂白剤をご使用ください。

※ –釉薬（ガラス面）の表面に絵柄があるもの。

その他の注意していただくことについて

※うわぐすりの無い部分を食酢・梅酢などの酸性が強い食品に接した状態で長時間ご使用にならないでください。素地を傷める事があります。
※ 製品にシールが貼ってある場合は、はがしてお使いください。

素材	グラスウエア	ノリタケ金属食器 （ステンレス、金メッキ、陶製ハンドル製品）	ノリタケ金属食器 （銀・銀メッキ製品）
安全にご使用いただくために	(1) ガラス製品は割れ物です。また、強化ガラスではありません。お取り扱いには十分注意してください。 (2) 割れ物ですので小児の手の届かない所に置いてください。 (3) 耐熱ガラスではありません。急激な温度変化（急冷、熱湯を注ぐ）はお避けください。 (4) 電子レンジやオーブンでは使用しないでください。 (5) 傷が付いたり、欠けているガラス器は危険ですので使用しないでください。 (6) 乾杯などの際、グラス同士を強くぶつけないでください。 (7) スタック専用のガラス器以外は積み重ねないでください。 (8) 大型のガラス製品は重く、落とすと危険です。 お取り扱いには十分注意してください。 (9) 水や飲み物の入ったグラスや花器を、電化製品やコンセントの上やそばに置かないでください。万一こぼれると危険です。 (10) 透明なガラス製品を日なたに長時間置かないでください。レンズ効果により、そばの物が発火することがあります。 (11) 万一割れた場合には、素手で破片を触らないでください。手袋を着用してください。	(1) 食事用以外にはご使用にならないでください。 (2) 幼児（小児）の手が届かない所にご収納ください。 (3) ナイフの刃やフォークの尖った部分などでケガをしないようにお取り扱いにご注意ください。 (4) ステンレス製は耐蝕性に優れた金属ですが、汚れや塩分がついたまま放置・保管しますとサビることがありますのでご注意ください。 (5) サビやすい製品と長い間接触した状態で放置・保管しないでください。 サビがステンレスに付着したり、サビる原因にもなることがあります。 (6) 金属食器は電子レンジには使用できません。 (7) ナイフやフォークをバーベキューの串として使用されたり、電子レンジや直火で食品と一緒に加熱しないでください。	(1) 食事用以外にはご使用にならないでください。 (2) 幼児（小児）の手が届かない所にご収納ください。 (3) ナイフの刃やフォークの尖った部分などでケガをしないようにお取り扱いにご注意ください。 (4) 収納は湿気の少ない乾いた所にしてください。又、銀は柔らかいため他の材質の金属食器と一緒にされますと擦り傷が付きますのでご注意ください。 (5) 金属食器は電子レンジには使用できません。 (6) ナイフやフォークをバーベキューの串として使用されたり、電子レンジや直火で食品と一緒に加熱しないでください。
洗浄によるお手入れについて	(1) 食器洗浄器の使用はお避けください。手洗いをしてください。 (2) グラスの内面を洗う際は十分にご注意ください。内側から力を入れてひねり洗いをしますと、破損して思わぬケガをすることがあります。柄付きのスポンジをご使用ください。 (3) ガラス器に飲食物（ミルク、オレンジジュース、ワイン等）を長時間入れたままにしないでください。汚れが落ち難くなります。 (4) 柔らかな布かスポンジをご使用ください。ガラスを傷める恐れのある金属タワシや研磨材付きスポンジ、研磨材入り洗剤は使用しないでください。 (5) 洗剤は中性洗剤のご使用をお薦めします。アルカリ性洗剤を使用されますと、グラスの表面を曇らせることがあります。 (6) 絵入り及び金銀加飾の商品には有機溶剤や高濃度の洗剤、漂白剤などは使用しないでください。絵の光沢がなくなったり、色落ちすることがあります。 (7) 洗浄後は清潔な温水でよくすすぎ、水滴が乾かない内にケバのない布でよく拭いてください。 (8) 洗浄後よく乾かして、湿気の少ない所に収納してください。 (9) 長期間収納する場合にも、2〜3ヵ月に一度は洗浄によるお手入れを行ってください。	(1) 金属タワシ・クレンザー（硅粉等硬い研磨材入り）や硬いスポンジ（研磨材付きタワシ等）をご使用になりますと、傷がつきますのでご使用にならないでください。 (2) 柔らかな布かスポンジを用い中性洗剤で温水洗いし、清潔な温水でよくすすいでください。 (3) 水滴が乾かない内にケバのない布でよく拭いてください。水滴が付いたまま乾かしますと水滴の跡が取れにくくなります。 (4) 洗浄後よく乾かして、湿気の少ない所に保管してください。	(1) 金属タワシ・クレンザー（硅粉等硬い研磨材入り）や硬いスポンジ（研磨材付きタワシ等）をご使用になりますと、傷がつきますのでご使用にならないでください。 (2) 柔らかな布かスポンジを用い中性洗剤で温水洗いし、清潔な温水でよくすすいでください。アルカリ性洗剤で洗浄すると表面に悪影響を与えることがございます。
その他の注意していただくことについて	(1) 花器・灰皿などを食器としてご使用にならないでください。また、食器を食器以外の用途に使用しないでください。 (2) 灰皿は安全のため水を入れてご使用ください。吸殻の火を確実に消してください。灰皿の上で物を燃やさないでください。 (3) 花器の水は適宜入れ替え、よく洗浄してください。 (4) 手造りの製品は、サイズ、形、色、絵に多少のバラツキがありますので、あらかじめご了承ください。 (5) 絵入りの商品は時の経過と共に色があせることがありますがご了承ください。	(1) 金メッキ製品は強く磨いたり拭いたりしないでください。 (2) 磁器製ハンドル製品はハンドル部分が磁器製なので強い力を加えると、欠けたり抜けたりしますのでお取り扱いにご注意ください。 (3) 磁器製ハンドル製品は、割れたり欠けたりしたハンドルのその箇所に触れると、ケガをする恐れがありますのでお取り扱いにご注意ください。	(1) 長期間保存する時は銀の光沢を出来るだけ失わないようにするために、ポリエチレン袋・薄い紙・油紙・布等で完全に包み、箱に入れて保管し、空気に出来るだけ直接触れさせないようにしてください。 (2) 輪ゴムなどゴム製品や塩化ビニール製品と長い間接触させますと、変色の原因となりますので、これらの材質と長い間触れさせないようにしてください。 (3) 表面が黒ずんだ時（銀と微量な硫化物との化合）には、市販の銀磨き剤を柔らかい布につけて軽く静かに表面をなでるように磨いてください。 (4) 塩素系漂白剤をご使用になると黒く変色する原因となりますので、絶対にご使用にならないでください。